

# 鎌倉街道上道を歩く 第8回（最終）

＜JR 藤沢～鎌倉＞

距離約 20km

1. 日時 2015年10月22日(木)～23日
2. 集合場所 8:35 所沢駅 池袋線ホーム中央階段下
3. 出発時間 8時42分発 池袋行きに乗車
4. 昼食 1日目：天狗、2日目：銀座アスター
5. 帰着予定時間：所沢駅 2日目 15:00頃

往復交通費  
約3300円



8:42 所沢ー9:15 池袋 9:27 湘南新宿ライン快速国府津行ー10:26 藤沢着  
**コースガイド**

新田軍は鎌倉攻めの時、一旦藤沢の遊行寺に集結してから主力が化粧坂（けわいざか）に向かいます。今回は藤沢から化粧坂を通過して鶴ヶ岡八幡宮まで行きます。その後、藤沢駅近くのさくら水産にて打ち上げをやりましょう。

そして、2日目は稲村ヶ崎から鎌倉攻め激戦地の極楽寺坂を通過して鎌倉に入ります。そして、鎌倉七口の一つで、今も昔の面影の残る大仏坂切通に行きます。鎌倉到着 12:00 の予定、食事して帰宅です。

今回のコースは起伏が多いコースです。なるべくアップダウンの少ないルートを取りますがそれでも上り坂はあります。マップの標高を参考にしてください。1日目は約 12km の予定です。

藤沢駅から、まずは旧鎌倉街道まで戻ります。お馴染みの境川を越してから最初の登り坂です。

① **慈眼寺**：曹洞宗の寺で無量山慈眼寺という。

天文2年（1533年）に玉縄城主北条綱成が創建したといわれています。本尊の秘仏十一面観音像と本堂にかかる梵鐘は市指定文化財。山門の前の参道には地蔵が並び、山門には龍が巻きついた装飾があります。

平氏満の墓がある。藤沢の旅籠小松屋の隠居で千句の和歌を収めた”千種集”を遊行上人に献上した歌人で、平氏満は歌名です。

**【寄り木】** 藤沢市天然記念物

モチノキ4株、タブノキ3株、スタジイ1株が根元でくっついて一部融合した3種8株の混生樹（寄り木）である。



② **二伝寺**……割愛します

浄土宗戒法山宝国院二傳寺は戦国時代の永正2年（1505）、玉縄城の初代城主北条氏時（北条早雲の次男）によって創建されました。当時は玉縄城から尾根つづきで一番高い場所（72.5m）にあり、旧鎌倉街道に沿っていたので、玉縄城の砦の役割を担っていたと考えられます。

境内山頂には、坂東平氏の祖といわれる平良文と2代忠光、3代忠通の塚があります。

平良文は桓武天皇の四代後の平高望の五男、東下りして村岡城に居を構え、村岡五郎と称しました。後に鎮守將軍に任ぜられ、坂東八平氏\*の始祖とされています。

※坂東平氏：清盛率いる平家（伊勢平氏）に対峙した源頼朝に味方した有力武士団の多くが坂東八平氏である。所沢の山口市も、桓武平氏の流れをくむ武蔵七党の村山党から派生した支族であり平氏です。

③ 日枝神社前 庚申塔や双体道祖神等があります。近隣から集められたものでしょう。

#### ④ 村岡城址

村岡五郎を名乗った関東八平氏の始祖平良文の居城であったとされます。現在は公園になっています。 **ここで一休み。**



村岡城址碑

#### ⑤ 洲崎古戦場跡

元弘3年（1333）新田義貞軍を迎え撃つため幕府軍の赤橋守時は6万（太平記の記述、実数は10分の1以下？）の兵を率いて巨福呂坂（こぶくろざか）を越えて洲崎（現地名は寺分）に布陣した。合戦は18日に始まり新田軍の将堀口貞満と戦い残った90余人の兵とともに守時は自刃しました。

【泣き塔】旧JR車両工場の跡地の一角に樹木の茂った所に泣き塔があります。夜毎に人のすすり泣くような声が聞こえたところから名付けられたと伝えられています。ここには宝篋印塔と数基



の五輪塔が残されており、戦いの約20年後州崎合戦の死者弔うために建てられたものと伝えられています。この場所は実は小さな岩山で、大船工場設立時にこの岩を壊そうとするたびに死傷者が出たと言われています。

【洲崎古戦場跡碑】此ノ辺り古ノ洲崎郷ニ属ス 元弘三年五月新田義貞鎌倉攻ノ折 ソノ武将堀口三郎貞満 大島讃岐守 守之洲崎

口ヨリ攻ム 鎌倉方ハ赤崎相模守 守時ヲ将トシ  
テ邀撃シ 戦闘六十数度 遂ニ敗レ守時以下九  
十余人自刃シタル古戦場ナリ

昭和三十一年三月建 鎌倉友青会



⑥ 昼食 : 天狗 13:00~14:00

⑦ 御霊 (ごりょう) 神社(梶原)後三年の役で活躍した鎌倉権五郎景政をまつる神社です。もとは関東平氏五家の始祖、鎌倉・梶原・村岡・長尾・大庭の5氏の霊を祀った神社であったとされ、五霊から転じて御霊神社と通称されるようになり、後に、鎌倉権五郎景政の一柱のみに祭神は集約されました。長谷観音近くの御霊神社(二日目に行く)は、もとはこの梶原の御霊神社を移したものだと言われています。

鎌倉街道は地図の青い破線のあたりを通りますが、住宅開発で昔のよすがは残っていないので、比較的起伏の少ない道を通って化粧坂を目指しましょう。

⑧ 葛原岡神社と日野俊基の墓: 日野俊基は後醍醐天皇の命を受け、鎌倉幕府を打倒するために立ちあがった。しかし、企てが失敗し(正中の変)一度は赦されたが、再び討幕を企て、元弘2年(1332)にこの地で斬首された。翌年には新田義貞の大軍がこの岡を越えて鎌倉に攻め込み、鎌倉幕府は終焉を迎えますが、歴史上、重要な人物であることから、墓は1927年(昭和2)に国の史跡に指定されました。葛原岡神社は日野俊基を祭神として祀った神社です。

⑨ 源氏山公園: 後三年の役(1083~1087)に源頼朝の先祖である源頼義、義家が出陣の時、山上に白幡を立てて氏神の岩清水八幡宮に戦勝を祈願しました。源頼朝も平家追討の時、山頂で、源氏の戦勝を祈願したと言われます。山頂にある頼朝の銅像は治承4年(1180)の頼朝鎌倉入り800年を記念して昭和55年(1980)に建てられたものです。



⑩ 化粧坂(けわいざか): 鎌倉七口ののひとつで、上道から鎌倉への入り口。鎌倉防衛の要衝の一つで、新田義貞は鎌倉攻めで





ここを突破できず、稲村ヶ崎から鎌倉中に攻め入った。

化粧坂の名前の由来は、平家の大将の首を化粧し首実験したから、あるいはこの辺に遊女がいたからという説等がある。「化粧」を「ケショウ」と読むと現在と同じに「白粉でお化粧」の意味ですが、古くは「ケワイ」とも読み、その場合は「身だしなみを整える」と言う意味に使われる。その意味からは「都市」＝「ハレの場」に入る境で「身だしなみを整える」と言う意味で「ケワイ（化粧）坂」、つまりは「鎌倉中」への境界である坂との意味と考えるのが自然であると言う説もあります。

### ⑪ 景清の土牢

景清は平家に仕えて戦い、都落ちに従ったため俗に平姓で平景清とも呼ばれているが、藤原秀郷の子孫で藤原景清。「悪七兵衛」（あくしちびょうえ）の異名を持つほど勇猛であったといわれ、謡曲や歌舞伎などの題材に扱われ各地に様々な伝説が残されている。

平家滅亡後も頼朝の暗殺を企てこの土牢に閉じ込められたとされています。「水鑑景清大居士」と彫られた墓石、「向陽庵大悲堂碑記」の石碑が建っている。

### ⑫ 扇ヶ谷（おうぎがやつ）

化粧坂を降りたあたりが扇ガ谷です。もともと、この地は亀ヶ谷と呼ばれ、亀ヶ谷坂を経て北鎌倉方面とつながる地域です。地名の由来は鎌倉十井の一つ「扇の井」にちなんだものですが、この地に住んだ管領上杉定正が『扇谷殿』と称されてから扇ガ谷と呼ばれるようになりました。

⑬ 浄光明寺：第5代執権北条時頼、第6代執権北条長時が開基となって創建したと伝えられ、北条氏や足利氏とゆかりの深い寺院で、足利尊氏は後醍醐天皇に対し挙兵する直前、当寺に籠っていたと伝える。境内は、谷戸を雛壇状に造成した中世寺院の景観がよく保存されています。元は武士の屋敷のあった場所で、ブラタモリでは平地の少ない鎌倉の土地をいかに有効利用したかが描かれており、鎌倉石（凝灰岩で彫り易い）の石切り場もあります。

(別紙：ブラタモリ.doc を参照下さい)

入り口に**藤谷黄門遺蹟**という碑が立っていますが**黄門**とは**中納言の唐名**で藤ヶ谷に居を定めた冷泉為相(ためすけ)中納言を指します。歌人の藤原定家の孫で歌道の名門冷泉家の始祖です。為相の母は京から鎌倉への紀行文「十六夜(いざよい)日記」の作者。裏山には為相の墓があります。

**【浄光明寺の榎】**鎌倉市指定天然記念物 樹齢 750 年

他に天然記念物のビャクシンもありますが、裏の崖から生えており見える所にあるか不明です。

⑭ **寿福寺**:建久 10 年(1199)に亡くなった源頼朝の菩提を弔うため、北条政子が正治(しょうじ) 2 年(1200)に建てたもので、鎌倉五山の第 3 番目です。この地は源氏の父祖伝来の土地で、頼朝の父義朝の館があったといわれ、また墓地の奥の方にある“やぐら(横穴墳墓)”は源実朝と北条政子の墓と伝えられています。ここは、1 分程待つと鹿威し(ししおどし)の音が響きます。

**【寿福寺のビャクシン(白榎)】**鎌倉市指定天然記念物

鎌倉にはビャクシンの枯木が多く特に建長寺ビャクシンが有名だが寿福寺の仏殿前のビャクシン 4 株も市天然記念物に指定されている。

⑮ **鶴岡八幡宮**:鶴岡八幡宮は源頼義が前九年の駅で奥州の安倍氏を平定した後、康平 6 年(1063)、石清水八幡宮を由比郷鶴岡に勧請した。その後、治承 4 年(1180)、平家打倒の兵を挙げて鎌倉入りした源頼朝がこの地に移し、更に建久 2 年(1191)には、武士の守護神の総社にふさわしく上宮と下宮を現在の姿に整えた。

源頼朝が鎌倉幕府を開いた後は、源義家が勧請した経緯もあり、武家の崇敬を集めました。鎌倉幕府衰退後は、25 の僧坊の数も減少し、一時衰退します。戦国時代には里見氏により焼き討ちにあうも、北条氏綱が再建を果たしました。

江戸時代に入ると江戸幕府の庇護を受け大規模化が進み、仁王門、護摩堂、輪藏、神楽殿、愛染堂、六角堂、観音堂、法華堂、弁天堂等を建築し、徳川家光の治世に薬師堂、鐘楼、楼門なども建てられました。また境内には、多宝大塔、東照宮も存在しましたが、明治になると廃仏毀釈の動きが始まり、多宝大塔などの仏堂は破壊されました。

鶴岡八幡宮の祭神は「八幡神」と総称される以下の3柱です。

- ・ 応神天皇 - 第15代天皇
- ・ 比売神 (ひめがみ)
- ・ 神功皇后 (じんぐうこうごう) 応神天皇の母

八幡神 (やはたのかみ、はちまんじん) は、日本で信仰される神で、武家から武運の神 (武神) 「弓矢八幡」として崇敬を集めた。誉田別命 (ほんだわけのみこと) とも呼ばれ、応神天皇と同一とされる。また早くから神仏習合がされ、八幡大菩薩と称された。

鶴岡八幡宮の舞殿では鎌倉祭りの時に「静の舞」が奉納されています。源義経の愛人の白拍子静御前は捉えられて鎌倉に送られます。義経の行方を答えない静に対し頼朝は、舞いの妙手として京で名高い白拍子の静に舞を求めます。

「しづやしづ しづのをだまきくりかえし……」で有名な静御前の舞は鎌倉市観光協会にて毎年舞殿で再現されています。

平成22年3月に大風のために倒れてしまった樹齢千年の大銀杏は今どのようなになっているのでしょうか。植え替えた倒れた幹、残った根から蘂 (ひこばえ) が生えているようです。

なお、久米の鳩峯八幡神社の創建は延喜21年 (921) で石清水八幡宮より分祀を受けたもので、鶴岡八幡宮より古いんです。

第一日目は鶴岡八幡宮で終わりです。宿泊して二日目も参加さ

れる方は藤沢に行き「さくら水産」で、英気を養って鎌倉街道歩き最後の日を迎えましょう。

宿泊先：チェックイン・精算は各自でお願いします。

東横 INN 湘南鎌倉藤沢駅北口

神奈川県藤沢市藤沢 515-1

電話 0466-53-1045

宿泊費（税込） シングル：6,804 円

ツイン 8,964 円／2 人

こんな感じの朝食が無料です。



## 二日目

ロビーに 8:00 集合（または稲村ヶ崎駅 8:50 集合）

江ノ電藤沢駅（8:24）……稲村ヶ崎（8:48）

二日目は新田義貞の鎌倉攻めの激戦地、稲村ヶ崎・極楽寺坂からスタートし、昼食を鎌倉で食べて帰りましょう。約 8km のコースです。先ずは予備知識からです。

## 新田義貞軍の鎌倉攻め

分倍河原・関戸の戦いで「北条幕府軍」を撃破した「新田義貞軍」は町田七国山を越え、「鎌倉街道上道」を南下し、藤沢「遊行寺」に大軍を集結させた。

鎌倉は天然の要害でもある「尾根」が三方を囲み、出入口となる七つの切通しを突破しなければならなかった。

義貞は軍勢を三手に分け、

「巨福呂坂」に堀口貞満 ⇒1 日目 州崎古戦場 参照

「化粧坂」に義貞自身と弟脇屋義助⇒二日目 義貞は極楽寺坂へ

「極楽寺坂」に大館(おおだち)宗氏を配し ⇒二日目 極楽寺坂

5 月 18 日火蓋が切って落とされた。

極楽寺坂の大館宗氏は、稲村ヶ崎を突破、鎌倉に侵入、前浜付





① 稲村ヶ崎 江ノ電の稲村ヶ崎を降りて稲村ヶ崎に向かいます。新田義貞が黄金造りの太刀を海に投じて稲村ヶ崎の海岸を渡り攻め入ったという故事は次の鎌倉という歌で有名ですが、

♪七里ヶ浜のいそ伝い 稲村ヶ崎名将の 剣投ぜし古戦場

実は大館宗氏が渡ったと同様干潮時に渡ったようです。

② 十一人塚 新田義貞は鎌倉攻めで戦死した大館宗氏とその家臣十一名の遺体を埋め、十一面観音を安置しその魂を祀りました。

碑文「元弘三年(1333)五月十九日 新田勢大館又次郎宗氏を将として 極楽寺口に攻入らんとせしに 敵中 本間山城左衛門手兵を率いて大館の本陣に切込み 為に宗氏主従十一人戦死せり 即遺骸を茲(ここ)に埋め 十一面観音の像を建て以て其の英魂を弔し 之を十一人塚と称せしと云う」

③ 日蓮上人袈裟懸松跡 幕府に捕らえられ龍ノ口の刑場へとひかれて行く日蓮は、この地において、袈裟が血に染まるのは恐れ多いと近くにあった松の枝に掛けたといわれています。現在松はありませんが、石碑によってその姿を偲びます。

④ 針磨橋 鎌倉十橋の一つ、針金を磨いて針を作る老婆が住んでいたなのでこの名がついたといわれる。鎌倉を流れる川に架かる橋で特に謂れや伝説の残る橋を鎌倉十橋と言います。

⑤ 極楽寺 『極楽寺縁起』によれば、当寺はもと深沢（鎌倉市西部）にあった念仏系の寺院を、正元元年（1259）、北条重時が当時地獄谷と呼ばれていた現在地に移したものであるという。ここに極楽寺が建てられたのは、現実には死骸が遺棄されたり、行き場を失った者たちが集まったりする「地獄」ともいうべき場所になっていたためとの指摘があります。

極楽寺の実質的な開祖である忍性が当寺に入寺したのは文永4年（1267年）のこととされています。極楽寺の古絵図を見ると、

往時の境内には施薬院、療病院、薬湯寮などの施設があり、医療・福祉施設としての役割も果たしていたことがわかる。

### 国指定史跡「極楽寺境内・忍性墓」

極楽寺の先は江ノ電で唯一のトンネルだそうです。

⑥ **成就院・極楽寺切通** 極楽寺切通は現在では自動車道路として整備されていますが、鎌倉時代は成就院の前を通っていたと思われれます。(タモリは幾つかある成就院の階段の平坦部は昔の道がつながっていた場所で、何回も切通が低くされた跡ではないかという説(冗談?)を唱えた)

成就院はアジサイ寺として有名ですが、アジサイが咲いていない時も由比ガ浜あたりの海が見えて良い場所です。

⑦ **星の井** 鎌倉十井の一つ。この辺りは山深く、うっそうと木々が繁り、昼でも暗かったため、井戸を覗くと星が輝いて見えたという伝説からこの名がある。

⑧ **力餅屋** 創業約300年の店、権五郎力餅(@95円)が名物だそうです。

店の前に御霊神社を示す石塔があります。横には「はせくわん音への道」と彫られています。ここから長谷観音に向かいましょう。



⑨ **江ノ電撮影ポイント** トンネルから出てくる江ノ電、アジサイと江ノ電が撮れるポイントとか。

⑩ **御霊神社** 鎌倉権五郎景政を祀る。4頁の⑦参照

「かながわの名木100選」に指定されたタブノキがあります。

椅子があるので、ここで一休み

⑪ **長谷寺** 拝観料300円

鎌倉の西方極楽浄土と謳われ、1年を通じ「花の寺」として親しまれる長谷寺。本尊の**十一面観音菩薩**は、高さ9.18mを誇る**日本最大級の木彫仏**。また、坂東観音霊場の第四番札所として、往古より衆生の崇敬を集める古刹です。

## ⑫ 高德院（鎌倉大仏） 割愛の予定

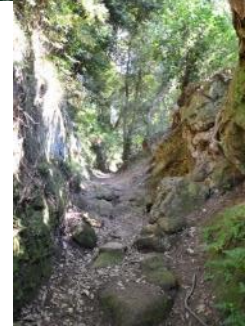
この写真に写る石はかつてあった大仏殿の礎石です。大仏殿は建武元年(1334)および応安2年(1369)の大風と明応7年(1498)の大地震によって損壊しています。以後、露坐となりました。



⑬ **大仏切通（国指定遺蹟）** 大仏切通しは鎌倉七口の一つに数えられ1241年～1250年頃に整備されたと考えられています。大仏切通は江戸時代に経路が変更され、県道（現在トンネルが通っている）が出来たため、大規模な破壊から免れ、「やぐら」と呼ばれる岩窟や切岸（きりぎし）などと共に鎌倉のかつての幹線道路のあり方を今に伝えています。是非、昔の切通の様子を見て下さい。ちょっと坂道がありますが無理せずゆっくり行きましょう。



大仏切通を通して、元のところに戻ったら長谷に戻り、江ノ電で鎌倉に行き昼食後帰ります。



## ⑭ 昼食 12:00～13:00 銀座アスタ－鎌倉賓館

消費税の他にサービス料10%がつきます。 (0467-22-6700)

ランチ李下 1500円の場合  $1500 \times 1.18 = 1770$  円になります。

## 帰宅予定電車

13:08 鎌倉（宇都宮行）－池袋 14:32－所沢 15:01

以上で「鎌倉街道を歩く」全8回が終わりです。ご参加ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。